

その他資料 2

コロナ禍の今だからこそみんなでつながろう！

～「いコネクト(I connect)ギョツとスマイルプロジェクト」～

1. 目的
新型コロナウイルス感染症で様変わりした生活で感じる喪失感や病気に対する恐怖など子どもたちの日常生活に生じる様々な気持ちに寄り添い、家庭、学校・園、地域がつながって一体となり、みんなが安心して生活できるよう子どもたちにメッセージを送る。
2. 社会的背景
新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、感染対策を講じていても、誰もが感染する可能性があり、感染する年齢の幅も広がりつつある。そんな中、医療従事者だけではなく、感染者やその家族、感染疑いの人が誹謗中傷されるなど、恐怖が人々への攻撃となり、絶対にしてはいけない偏見や差別がおこっている。自身や家族が療養した子どもたちは大きな不安や悲しみを抱いていると思われる。
3. 本市の状況
本市でも、7月に入ってから感染が拡大しつつあり、市内の学校や公共施設などで療養された方がいらっしまった。このことで、市内の方々から不安な声が問い合わせとして寄せられた。
4. 内容
①シンボルグッズ・ポスター作成
コロナ禍で喪失感を感じたり、自分、家族、友達が感染して療養したりなど、子ども達の様々な思いに寄り添い、「家庭」「学校・園」「地域」「生駒の自然」がつながって一丸となり、あなたを守るという思いを届けるためシンボルグッズを作成する。
市民のみなさんがこの取組に賛同され、市全体に人を思いやりながらコロナに立ち向かっていこうという気持ちを広げていく。
②教材作成
コロナ禍での不安や恐怖がまわりの人への攻撃に転換しない視点も含んだ教材作りに取り組む。
5. スケジュール
8/11 臨時園長会にて提案 プロジェクト始動決定
8/13 プロジェクト名、シンボルグッズ名決定
シンボルグッズ作成
ポスター案考案
8/18・25 ポスター完成
教材作成開始
6. 周知方法
9/1 報道発表
9/1 ～ 各園でチラシ配布
幼稚園・こども園の職員が身につけて保育
(H. P掲載は未定)